

4. 商品

市場社会における実質的富

今回のキーワード

- ⊕ 市場
- ⊕ 商品
- ⊕ 自由・平等
- ⊕ 私的所有

今回の課題

- ✓ 個々の商品を考察する
 - 商品とは何か(商品の二要因)を明らかにする
- ✓ たくさんの商品の関連を考察する
 - 市場社会の独特な形成様式を明らかにする

今回の内容

- ▶ 商品とは何か？
- ▶ 商品交換のシステム

市場社会(はじめに)

- 市場社会としての現代社会
- 商品と貨幣がメインプレイヤー
- 社会的分業の高度な発達を前提
- 商品交換によって
 - グローバルな社会を形成
- ⇕ それと同時に
 - 独立した私人を実現

商品の二要因

1. 他人にとって有用なもの
 - 「他人にとって」てのがミソ
2. 価値をもつもの
 - ここで言う価値とは社会的な価値、すなわち市場価値

有用性

- そもそも誰にとっても無用なものはただのゴミ
- しかも社会的に、すなわち所持者以外の誰かにとって有用でなければならない
- 商品の有用性が人間にとっての効用をなす

商品価値

- プレゼントではなく、等価のもの(=価値の等しいもの)と引き換え
- 商品価値を決定するのは生産コスト

自由・平等・私的所有

- 商品交換の原理
 - 自由
 - 平等
 - 私的所有
- 商品交換の当事者=人格
 - 自由・平等な私的所有者
 - 自己責任
 - 個人の自立

商品交換の総体としての市場社会

- 商品交換はグローバル
 - なんでも接着剤
 - “つながってるんです”
- 商品交換は労働変換の独特なやり方

今回の結論

- ❖ 商品は市場価値を持つ
- ❖ 商品交換は自由・平等な私的所有者を生み出す
- ❖ 商品交換のネットワークの総体が市場社会である